

昇龍道プロジェクトの 数値目標について

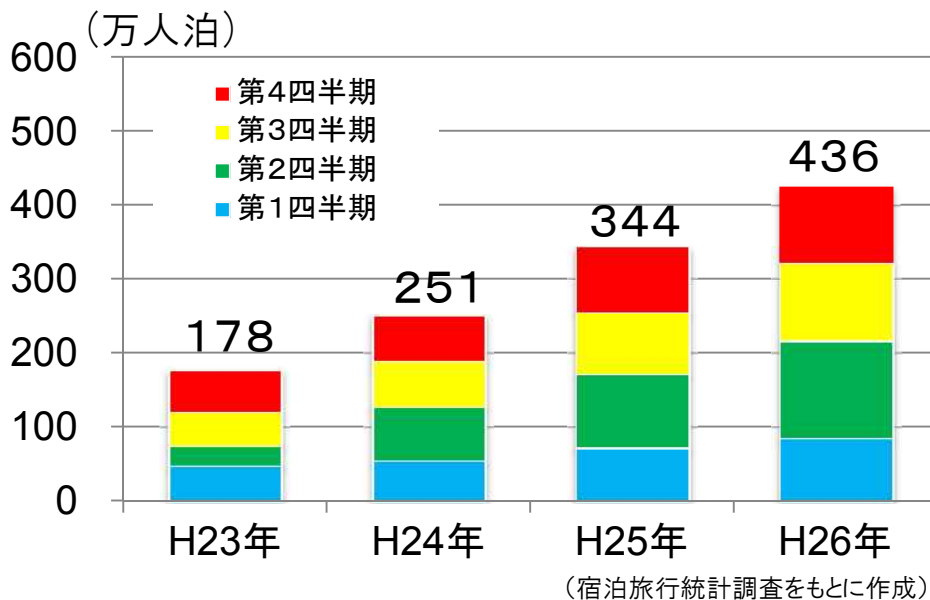




これまでの昇龍道プロジェクトの数値目標

- 第1回協議会時（H24.3.9）
中部北陸への訪日外客数を今後3年で倍増（200万人泊から400万人泊）へ
- 第4回協議会時（H25.9.26）
「外国人宿泊者数を平成26年に400万人泊へと倍増させる」とした発足当時の目標を確実に達成し、将来目標として600万人泊を目指す

これまでの昇龍道9県の外国人宿泊者数の実績

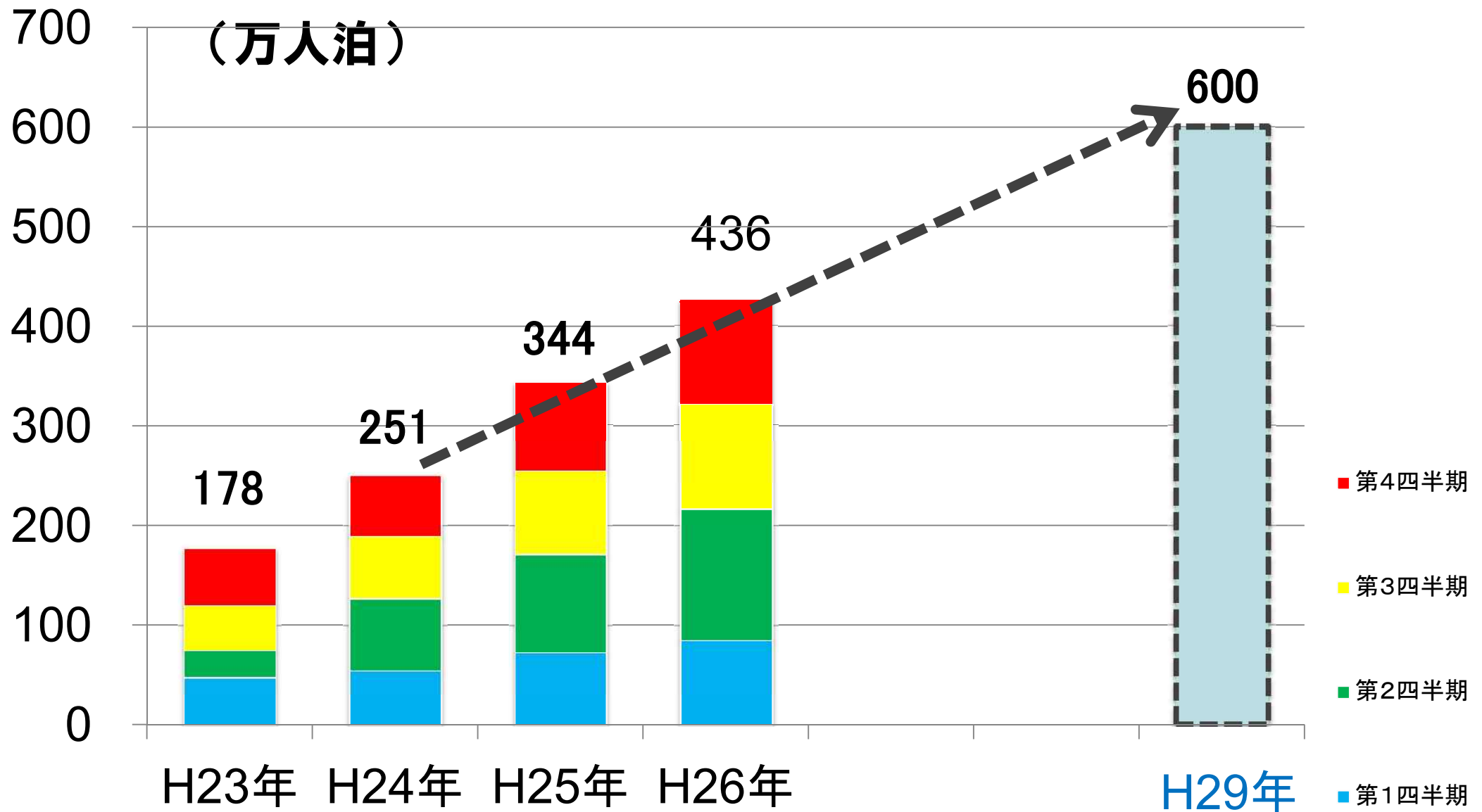


- 平成26年末の外国人宿泊者数は、436万人泊^(※注)と、第1回協議会時に掲げた数値目標を達成する見込み。

(※注) 平成26年の実績は未発表であることから、平成25年が344万人泊であったこと、平成26年の1月から9月までの対前年比の伸び率が26.7%であったことを踏まえ、 $344 \text{万人泊} \times 1.267$ となると推計したもの。

- 第4回協議会時に「将来目標として600万人泊を目指す」とされたことと、最近の動向を踏まえて、新たな数値目標を設定する。

平成27年の数値目標の設定



◆次の目標として、平成29年に600万人泊の達成を目指す。